

力を合わせて
全力ダッシュ

大

運

動

会

目次

6月定例議会	2
一般質問	3
原子力問題調査特別委員会	11
9月定例議会日程	12

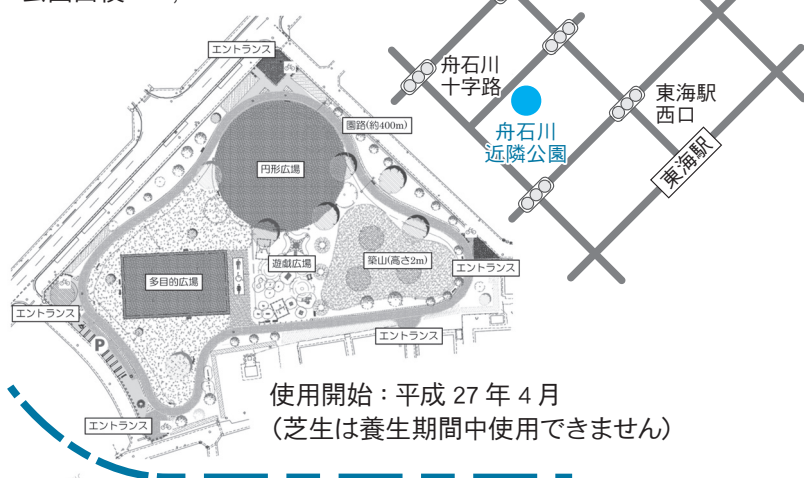
南台・緑ヶ丘の震災復旧工事 舟石川近隣公園整備工事等可決

平成26年第2回東海村議会定例会は6月2日に開会しました。10～12日には一般質問（15人）、17日に議案審議が行われ、南台第三工区造成宅地滑動崩落緊急対策工事4億2000万円、緑ヶ丘第四・第五工区造成宅地滑動崩落緊急対策工事2件で1億7400万円、舟石川近隣公園整備工事1億3600万円を含む議案等18件をすべて可決しました。

なお、緑ヶ丘の震災復旧工事は第五工区で工事が完了します。

《舟石川近隣公園》

主な施設：多目的広場、遊戯広場、
園路約400m、駐車場、駐輪場
公園面積：12,500㎡



至中丸小

《南台の震災復旧》

斜面安定対策工事
工事箇所：団地南側
斜面、旧郵便局周辺
工期：平成28年
1月下旬まで

※期間中は迂回路
での通行をお願い
します。

《緑ヶ丘の震災復旧》

暗渠排水管布設工事
※地下水を取り除く工事
工事箇所：団地南側
工期：平成27年
3月中旬まで

至県道豊岡佐和
停車場線

至県道豊岡佐和
停車場線

各議員の賛否（請願等で賛否の分かれたもの）

会派名	新政会						新和とうかい				光風会			豊創会		日本共産党		公明党		無
議員名	鈴木 昇	飛田 静幸	村上 邦男	舛井 文夫	川崎 和典	吉田 充宏	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	江田 五六	恵利 いつ	照沼 昇	村上 孝	豊島 寛一	大名美恵子	川崎 篤子	岡崎 悟	植木 伸寿	相沢 一正
請願 2 6－2 号 要支援者を介護予防給付から切り離すことに反対の請願書																				
	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○
請願 2 6－4 号 「労働者保護ルールの現行制度の維持・改善を求める意見書」の採択に関する請願書																				
	議長	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
承認第 3 号 専決処分の承認を求めることについて（東海村税条例の一部を改正する条例）																				
承認第 5 号 専決処分の承認を求めることについて（東海村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）																				
	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○

○…賛成 ×…反対

討論

要支援者を介護予防給付から切り離すことに反対の請願書

●請願内容：要支援者の訪問介護、通所介護を市町村の地域支援事業に移行することに反対する請願

賛成討論

日本共産党 大名美恵子 議員

要支援者の訪問・通所介護を市町村の地域支援事業に移行する国の計画は、人員・運営とも基準がなく、サービス内容は市町村の裁量。しかも事業予算に上限があり、国は給付費削減を義務付ける。サービスの後は火を見るよりも明らか。

東海村条例の一部を改正する条例

●改正内容：地方法人課税や車体課税の見直し、税負担軽減措置等に関する改正

反対討論

日本共産党 川崎 篤子 議員

①地方法人税の法人村民税率減税分を国税化して地方交付税財源に充てるもの。不交付団体の本村は減収のみになる。②唯一の交通手段に所する家庭も少なくない軽自動車や原付バイクの増税である。よって反対。

東海村国民健康保険条例の一部を改正する条例

●改正内容：後期高齢者支援金等課税額や介護納付金課税額の限度額の上限の引き上げ

反対討論

日本共産党 大名美恵子 議員

今回の条例改正で、保険税賦課限度額の引き上げに反対。被保険者間の負担をやり繰りすることで負担増を回避するとの国の方針は、抜本的改革の先送り。村の賦課限度額の引き上げ「改正」は、先送りに手を貸すこと。

6月議会の一般質問

議員名	質問事項
豊島 寛一	▼総括原価方式の廃止を▼リコッティ取得への進捗状況▼再稼働前提の手続き安全審査申請▼公共施設工事の進捗状況▼社会的弱者虐待への取り組み
相沢 一正	▼日本原電の申請と安全協定見直し▼原発事故時の避難計画▼公園除染
恵利 いつ	▼景観から考えるまちづくり▼ゆるキャラ、イモゾー家族を活かしたまち興し▼原子力発電問題
村上 邦男	▼農地中間管理機構設置に伴う東海村の対応▼東海駅五反田線の延伸計画▼指定金融機関のあり方
村上 孝	▼農業政策▼教育政策▼都市計画道路の推進
大名美恵子	▼今後の原子力政策をどう考えるか▼東海第二原発の再稼働問題での意見収集▼介護保険法「改正」による本村の課題▼母子・父子家庭家賃助成事業▼東新産業最終処分場の廃止措置にむけて▼安倍政権の道徳教育「改革」▼小・中学校普通教室へのクーラー設置
照沼 昇	▼TOKAI原子力サイエンスタウン構想▼地域活動のIT利用について住民参加を▼東海第二についての住民協議の手法等
越智 辰哉	▼通学路の安全性向上▼国際的かつオープンなまちづくり▼ごみ集積所のあり方▼行政と住民との協働のまちづくり
川崎 篤子	▼東海第二原発の再稼働許さず廃炉を求める▼「協働のまちづくり」に向けたキーマン育成▼図書館入り口の点字ブロック▼東海村商工会の事業費用の一部補助事業▼東日本大震災からの生活道路復旧および舗装▼労働相談窓口の開設を求める
武部 慎一	▼東海村における情報公開のあり方▼東海村におけるフォールアウト除染の終了▼東海村のまちづくりと新たな公共交通のあり方▼生きものと共に生ずる地域づくり▼東海村における持続可能性をどう考えるのか▼学校教育の教員基礎定数等の基本的な考え方と教育現場での問題
岡崎 悟	▼自動販売機の設置▼男性の不妊治療費への助成を求める▼役場職員パソコンでの経費削減▼常陸那珂港区と地域活性化▼ボランティアポイント制度の導入▼須和間霊園の取り組み
吉田 充宏	▼地域協働の健康づくり▼防犯強化▼避難計画の策定▼東海村の観光資源と特産品▼公共施設の自動販売機
舩井 文夫	▼持続可能なまちづくり▼原子力安全協定▼区画整理事業▼コミュニティセンターの管理▼農業▼東海村の道路▼英語教育
川崎 和典	▼学童保育▼災害時の要援護者受け入れの避難施設の環境改善▼愛大要望のドックラン設置▼久慈川河川敷ソフトボールグラウンドの環境整備▼真崎十文字から原研前に至る街灯
植木 伸寿	▼地域包括ケアシステム構築における取り組み▼本村での児童表彰の考え方▼データヘルス計画の具現化

※ を掲載

問 リコッティ取得への進捗状況は

答 有効活用に向け具体的な交渉を進めたい

豊創会 豊島 寛一 議員



議員 独立行政法人日本原子力研究開発機構の保有資産で処分対象施設の取得状況を伺う。土地・家屋鑑定はなされたのか。

平成13年開発公社との売買契約時の総取得金額。立地条件の良さは認めるが、使い勝手が悪い、修繕・リフォームは考えていない。駐車場が狭い、テナントも考えていないとのこと。安価で交渉すべきである。都市計画税・固定資産税の税収入が見込めたが、取得すると人件費・維持管理費で払い出しになることも考慮し慎重に検討願いたい。

副村長 本物件については、村内中心市街地の一角の立地条件に恵まれた駅前に位置し、本村のまちづくりに多大な影響を及ぼす。総合計画に基づきまちづくり構想として原子力

サイエンス構想の中心的施設であり、施設の利用方法、その他公共的かつ有効な活用方法について現在検討中。取得した上で活用を図ってきたい。JAEAからは、平成13年当時のリコッティの取得費用は、土地費用約3億円、建物及び機械等の費用が約16億円であると聞いている。



東海駅前にあるリコッティ

問 介護施設等の避難計画はたてられるか

答 安全に避難できる方法を探る

無会派 相沢 一正 議員



議員 介護施設等の高齢者避難を村としてどう考えているか。

村民生活部長 現在、県は施設の入所者数、車両や人員などの必要数、避難場所の有無などを調査している。避難計画の中では村も県と連携し活動することが必要になる。

村長 調査では多分この施設も対応できていないとの結果が出ると思う。そのときに、県や村としてどう対応すべきか、その方たちをどうするか、議論すべきだと思う。

議員 避難できないから再稼働を許さないとの考えには合理性があると思う。

村長 災害が起きたときに全ての方を動かすことが本当にいいのかどうかは、福島原発事故の教訓でもある。機密化など施設改修の補助制度もで



東海村にある介護施設の玄関に張られたポスター



問

ゆるい話題で東海村の元気を発信!

答

ゆるキャラ活用、これから積極的に取り組む

光風会 恵利 いつ 議員

議員 原発再稼働問題を抱え、微妙な空気がある東海村だが、観光協会

はいろいろな仕掛けをして頑張ろうとしている。その一つに625点の応募の中から選ばれたイモゾー家族

がある。特産品のいもをイメージし、3世代7人の大家族とした企画は素晴らしいアイデアと考えるが、いまだ認知度や露出度は低い。東海村を

楽しく村内外にアピールするためにもっと活用すべきと考えるが。

副村長 イモゾー家族誕生のチラシを作成し、村内外のイベントで配布、

また東海駅等にも置いてある。さらにキーホルダーを制作・販売するなど知名度アップに努めているが、まだまだ認知度が低い。観光協会とも連携し、PR方法等を考えていく。
議員 まずは村民の間に浸透し、親



市販されているストラップ類と紙袋の試作品

近感を持ってもらい愛されることが大切。費用対効果を考慮し、地域企業とタイアップするなど取り組み方で可能性は大と思うがどうか。

副村長 観光協会会員の多くの参加を求め、また、ボランティアの協力体制づくりなど観光協会の活動を支援していく。



問

一刻も早く農業公社設立の準備を進めるべき

答

年度内に構想をまとめ、概要ができ次第示す

新政会 村上 邦男 議員

議員 平成25年12月に農地中間管理

事業推進法が制定され、各都道府県に農地中間管理機構を1か所設置することが義務付けられた。茨城県での設置状況は。

建設農政部長 本県では4月に農地

中間管理機構が発足している。機構の業務は、農地の出し手と受け手の調整や農地の掘り起こしである。農

地の出し手と受け手をつなぐ作業は地域の農業情勢に精通した方の参加が不可欠であり、多大な労力を要する業務。県の機構が県内すべての市

町村をカバーすることは現実的ではないため、県は機構の業務の一部を各市町村に委託する予定である。

議員 東海村農業の現状は高齢化や後継者不足などで衰退の一途をたどっており、思い切った改革も必要

と考える。機構の業務は農地のあつせん、農作業の受託、農地の保全等であり、農業公社と同様の機能を有する。村でも一刻も早く農業公社設立に向けて準備を進めるべきである。

村長 今年度内に設立の構想をまとめ、概要ができた段階で告示する。



耕作放棄された農地

一般質問



問

決壊した東新川の堤防を県管理にできないか

答

今後も県に働き掛ける

豊創会 村上 孝 議員

議員 真崎浦土地改良区にある東新

川の堤防が大雨で決壊した。県が管理する二級河川として指定できないか。

建設農政部長 維持管理の事務が発

生することから指定には消極的である。今後も県へ働き掛ける。

議員 久慈川の水門を遠隔操作により開閉できないか。

建設農政部長 国土交通省管轄の4

樋管ひかん※（豊岡第一・第二、後川、外宿）

は順調に進めば早い時期で設置。村が管理の前川樋管は現在国土交通省に働き掛けている。

副村長 問題解決にあたり、村民の安全確保のため県、国土交通省に対して要望活動を進めていく。

議員 常陸那珂港を中心とした照沼笠松線（水戸外環状道路）の考え方



決壊した真崎浦の東新川堤防

を伺う。

副村長 都市や産業の拠点を結ぶこ

とは都市活動、経済活動、連携や交流を生み、効果が期待される。村は

持続可能なまちづくりを目指し、広域的なネットワークを形成するインフラ整備に取り組む。大動脈があれば物流によるさまざまな効果や、災害時のリダンダンシー（代替道路）

にもなり、ぜひ進めていきたい。



問

母子・父子家庭家賃助成を削減すべきでない

答

公的住宅入居者を助成対象からはずす考え

日本共産党 大名美恵子 議員

議員 母子・父子家庭家賃助成事業

は、県内でも優れた施策であり、ひとり親世帯を大きく励ましている。

しかし、本事業を「村が見直しの方向を考えているようだ」と、関係者から大変不安な気持ちで寄せられた。福祉・教育関連は行財政改革の対象にしてはならない。本事業を削減の方向で見直すのは絶対避けるべき。

福祉部長 本事業は母子・父子家庭の自立を支援し、児童の健全育成や生活の安定を目的とし、現在月額1万円を限度額に支援している。

県内では、守谷市が5000円、美浦村が4000円。村の平成25年度の支援は158世帯に1,309万8000円で、年々増加傾向。本村は公的住宅の減免制度適用

の方も含めているので、平成27年度から公的住宅入居者を助成対象としない方向で考えている。

議員 公的住宅入居者への助成を27年度から打ち切るといふ村の考えを

一方的に知らせるやり方は問題。住民に犠牲を強いてはならない。





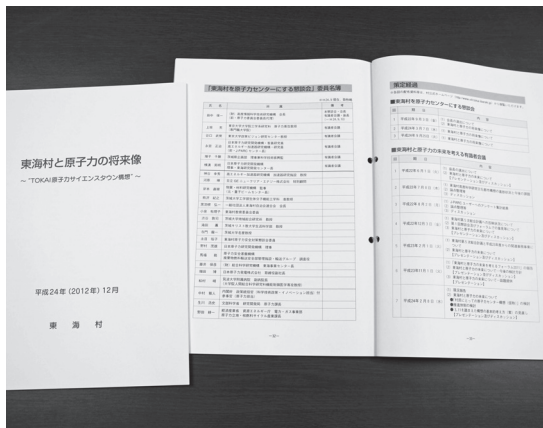
問 学のJAEAと官の県と共に構想推進すべき

答 村はコーディネーターの役割を果たしていく

光風会 照沼 昇 議員

議員 TOKAI原子力サイエンスタウン構想が多くの方から内容がよく分からないとの指摘をいただいている。この構想は、原子力に対して利害関係を異にするさまざまな分野の方々（写真）が、「東海村の大きな個性である原子力を東海村発展のための共通のツールとして、東海村の今後のまちづくりによりこのように活用してください」と合意した構想である。しかしながら、東海村の産・学・官の定義がいまいなために三者の連携が思うように図れず、構想の推進力が削がれている。東海村は、学としてのJAEA（日本原子力研究開発機構）と官としての県の活用を積極的に図り、それらの進捗状況を周知することが必要である。

副村長 JAEAは、かわり方いい



「東海村を原子力センターにする懇談会」委員一覧



問 ごみ集積所の台帳管理がなされていない！

答 次年度の早い時期にデータベース化する

新和とうかい 越智 辰哉 議員

議員 宅地化が進み、ごみ集積所の設置が困難なケースが増えているが、住民からの相談窓口がたらい回しされていると感じる。そもそも、村内にある集積所の台帳管理はどうなっているのか。

村民生活部長 台帳については新規設置の際に届け出をしていたき年度毎に保管しているが、一部不明な情報があるため、転入者等への情報提供が的確に出来ていない状況である。

そこで、今年度から集積所の現状調査を行い、位置情報や管理者、利用者等の情報をデータベース化する準備を進めたいと考えている。

議員 現状は、新規で届け出された際の情報しか把握しておらず、台帳管理されていないといっても過言



地域に設置されているごみ集積所



問 豊かな国土に国民が生活していることが国富

答 裁判についての意見は差し控える

日本共産党 川崎 篤子 議員

議員 「運転してはならない」と画期的判決を言い渡した福井地裁。

①原発事故において、命とくらしを守ることに大切なものはない。

②原発は、事故とともに被害が拡大する。こんな技術はほかに存在しない。③関電の「基準地震動を超える地震は考えられない」とは新たな安全神話。④豊かな国土に国民が生活していることが国富である。

これら4点に関し村長はどうお考えか。

村長 裁判についての意見は差し控える。

議員 村長は、原電が、適合性審査の申請後「再稼働に直結するものではない」とした根拠は何か。すべての住民を被ばくさせず避難できるか。村民をどう守るか。



この土地に安心して住み続けたい



問 東海村における持続可能性をどう考えるのか

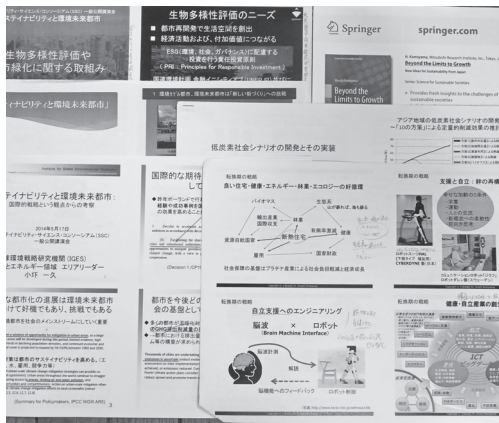
答 街の今の環境をいかに守れるかを念頭とする

新和とうかい 武部 慎一 議員

議員 持続可能性（サステナビリティ）はすべての項目の傘になる重要なキーワードであり、最終的な結果につながるものである。多様な事業はそれぞれリンクし、成果が積み上げられていく。迎える少子・超高齢化社会の飽和状態における持続可能性とは何かを考える時期。量的なものが飽和した後は人生の質をいかに維持し続けるか、将来の東海村の方向性を見据えどう取り組むのか、考えを伺う。

村長 ベースになるのは東海というまちの今の環境をいかに守っているのかを念頭に、それが実現できるまちづくり、それは役場が指導するものでなく普段の生活の中で自然に実現できるまちづくりが理想。村政運営の中で村の財源を活用し支援を

行っていく仕組みを作り、事業として行っていくことが呼び水となり、環境、医療、福祉、教育へとつながる。行政の縦割りに横串を通していくように、それをダイナミックに、戦略的に進め、環境都市等、思い切った政策を実現していく都市を考えていきたい。



持続可能性に関する検討資料



問 公共施設に自動販売機の設置を求める

答 11施設に設置する方向で進めたい

公明党 岡崎 悟 議員

議員 村は、節電とライフスタイルの転換を目的に掲げ、公共施設から自動販売機を撤去した。その結果は、村の考えとは異なったように思う。村内の自動販売機は、さらに増えたように感じる。これ以上増やさないためには、排除するのではなく、連携と協力が必要である。自動販売機の公共施設への設置は、業者と連携して、地域貢献が図れる取り組みの物を求める。また、村全体では、設置台数を減らすことを目標に、早い時期の設置を求める。

副村長 平成23年9月に、公共施設のほぼすべての自動販売機を撤去してから、述べ8回にわたり、各議員から質問を頂いた。先の第1回定例議会でも、総合政策部長が「方向性が決まったら、スピード感を持ってや

るよう指示する」と答弁したところである。協議の結果、基幹避難所である「各コミュニティセンター」「総合体育館」「総合福祉センター」などは、避難所としての機能の強化を目的に、また、スポーツ施設である「スイミングプラザ」「テニスコート」「阿漕ヶ浦公園」においては、熱中症予防を目的に、合計11施設に自動販売機を設置する方向で進めたい。



問 観光資源の活用と特産品のPRを積極的に行う

答 観光資源の整備とふるさと納税の活用を図る

新公会 吉田 充宏 議員

議員 東海十二景は、東海村の素晴らしい景観にもかかわらず、「見てください、寄ってください」という、『おもてなしの気持ち』が見えない。案内地図も略図で現地に行けない場所もあるし、基幹道路沿いに案内看板がなく、十二景に行っても他の十二景の案内もない。環境整備を行う必要がある。

副村長 東海十二景は美しい景観であり、貴重な自然・観光の資源である。環境を整備していく。

議員 ふるさと納税の実績を見る限り、精力的に募集しているようには思えない。ふるさと納税は財政を増やすだけでなく、納税者に特産品をプレゼントすることにより、東海村の特産品をPRできる絶好の機会と捉えるべきである。見解を伺う。



東海十二景の一つ「細浦青畝」



問

区画整理事業の進捗状況と駅西広場の現況は

答

中央地区除く3地区の家屋移転は99%完了済

新国会 舛井 文夫 議員

議員 中央地区を除く3地区の進捗状況は。

建設農政部長 平成25年度末で、駅西は道路100%、家屋移転99%、

駅東は道路99%、家屋移転99%、駅西第二は道路98%、家屋移転99%が完了している。中央地区は、道路

49%、家屋移転79%が完了している。中央地区を除く3地区については、

駅西地区から順次清算に向けて、一筆ごとの面積を確定する画地出来形

確認測量を実施し、換地処分に伴う登記を進めることとしている。

駅西については、当初計画から40年以上経過しており、村の玄関口である駅前広場については、現状に即した新たな整備方針への転換の時期と考

えている。今年度は交通需要などを考慮した新たな駅前広場のレイ

アウトを再検討し、より使いやすい配置への変更を検討し、結果として駅東駅西の両市街地の活性化につながる整備計画案を作成したい。

議員 駅西地区の駅前広場は、最後の懸案事項であり、茨城国体開催までにはぜひ完了してほしい。



東海駅西広場



問

村松十字路へ原研前の照明について

答

暗くて危険な場所は段階的に防犯灯を設置

新国会 川崎 和典 議員

議員 村松十字路から原研前に至る街灯設置について、昨年9月の定例

議会一般質問で「中学生の通学路で照明がなく、夜間の自転車、歩行者

にとって通路の安全、防犯の両面で街路灯の設置」を求めた。その時の

答弁の中で「外国の方々が集団で東海駅まで歩いて行った時に、あまり

に暗くて何とかならないか」と言われた事を受けて、真摯に受けて前向きに検討すると述べていたが、その

後の対応を伺いたい。

建設農政部長 この通りは県道で、常陸大宮土木事務所に街路灯の設置

について協議したところ、設置してある玉切れ等の交換、修理はするが、

原則として十字路や危険な場所等以外の増設はしないということであっ

た。しかし、この道路は利用者も多

く通学路にもなっているので、暗くて危険な場所等については本村において調査を実施し、段階的に防犯灯の設置を考えている。

議員 日照時間が短くなる10月ころまでに実現できるよう願いたい。



村松十字路から原研前

一般質問

福祉部長 自主防犯パトロールをしているグループが認知症の高齢者を見守るため、認知症サポーター養成講座を受講しグループが誕生した。



結成された地域の見守り隊

議員 来年度からの介護福祉や予防への取り組みを進めていると思う。その中の認知症初期集中支援チームの設置や地域の支援推進員の配置はどうなのか伺う。

福祉部長 村もそれらを設置するには至っていない。認知症の相談を受けた時は、適切な医療や介護サービスにつなげるように支援している。

議員 今後の認知症をはじめ介護福祉に向けた具体的取り組みについて考えを伺う。

福祉部長 増大する介護ニーズに対応するため、高齢者自らが社会参加や役割を担うことで生きがいや、介護予防を行う生活支援を担う人であり利用者であるとの考えで推進する。



問 認知症や介護支援に向けた取り組みを伺う

答 本村のニーズに合ったサービスを提供する

公明党 植木 伸寿 議員

原子力問題調査特別委員会

東海第二原発の適合性審査申請内容を聞く

東海村議会の原子力問題調査特別委員会は、6月17日に日本原子力発電株式会社から新規規制基準適合性審査の申請内容(地震対策・津波対策・火山活動・竜巻等)について説明を受けました。

委員からは、1978年の営業運転開始から35年が経過した原発の老朽化を危惧し、「老朽化した原発の安全性は」「新たに想定し直した地震の揺れに耐えられるのか」「独自のケーブルの難燃化対策は有効なのか」等の質疑応答がありました。

なお、原電は質問に応じて、住民説明会を開催する予定である旨を表明しました。

〈従来の規制基準〉

シビアアクシデントを防止するための基準(いわゆる設計基準)
(単一の機器の故障を想定しても炉心損傷に至らないことを確認)

自然現象に対する考慮
火災に対する考慮
電源の信頼性
その他の設備の性能
耐震・耐津波性能

〈新規規制基準〉

意図的な航空機衝突への対応
放射性物質の拡散抑制対策
格納容器破損防止対策
炉心損傷防止対策 (複数の機器の故障を想定)
内部溢水に対する考慮(新設)
自然現象に対する考慮 (火山・竜巻・森林火災を新設)
火災に対する考慮
電源の信頼性
その他の設備の性能
耐震・耐津波性能

(テロ対策)
新設
(シビアアクシデント対策)
新設

強化又は新設

強化

(出典：原子力規制委員会資料)

故須藤浩三氏によせて

寄稿者 川崎 孝志 さん

(元東海村議会議長)



今は亡き須藤浩三氏は、石神村・村松村合併前の村松村役

場に就職し、両村合併後に旧動力炉核燃料公社に移籍、公社の設立に貢献されました。

その功績が評価され、昭和39年1月の村議選で当選を果たし、それから平成16年1月までの10期40年間の長きにわたり村議会議員を務められました。この間、議長をはじめ各委員会の正副委員長を多年歴任され、平成16年11月には地方議会発展の功績が認められ、『旭日双光章』が贈られました。

お人柄は、真面目で正直な性格で、地元では「浩ちゃん」の愛称で呼ばれ、私達後輩には親切で指導力があり、政治家の鏡のような存在でした。

心よりご冥福をお祈りいたします。

9月定例議会日程（予定）のお知らせ

期 日	時 間	内 容
9月 1日(月)	午前10時～	開会
9月 9日(火)	午前10時～	一般質問
9月10日(水)	午前10時～	一般質問
9月11日(木)	午前10時～	一般質問
9月12日(金)	午前 9 時～	決算特別委員会

期 日	時 間	内 容
9月16日(火)	午前 9 時～	決算特別委員会
9月17日(水)	午前 9 時～	決算特別委員会
9月19日(金)	午前10時～	決算特別委員会
9月24日(水)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

※開会・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。また、村内各コミュニティセンターや総合福祉センター「絆」でもご覧になれます。

編集後記

沢山の方に読んでいただける紙面を目指し、日々奮闘中の議会報編集委員会。

文字を少なくし、写真を多く活用できるように、村の行事などがある場合には、各委員が積極的に撮影を行うことになりました。

今回、表紙のテーマは小学校の運動会。この日は天候も良く、絶好の撮影日和。私も愛用のデジカメを片手に、張り切って撮影に臨みました。個人の種目や団体戦、さまざまなアングルで70枚程、撮影を行いました。

早速、家に帰りパソコン上で確認してみると、手振れがあつたり、表情が上手に捉えきれなかったりと、まずまずの出来と思える物は3枚程度。

腕が悪いのか、カメラが悪いのか分かりませんが、あらためて撮影の難しさを実感したデビュー戦となりました。

(河野 健二)

議会報編集委員会

委員長	川崎 篤子
副委員長	河野 健一
委員	大内 則夫
豊島 寛一	川崎 和典
照沼 昇	植木 伸寿